第4会場(Ⅳ部門)

「イノベーション」

[新技術、コスト縮減、創意工夫]

(第1日目)平成30年7月26日(木)

東福第二ビル 1F(第3)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所属	発表者
1	10:00~10:18	新たな木材需要と官庁営繕工事の魅力創出への期待~CLTパネルを利用した木造庁舎整備の取組み~	営繕部	犬塚 雄介
2	10:20~10:38	浚渫土砂を活用した護岸築堤材について	北九州港湾·空港整備事 務所	今長谷 茉里
3	10:40~10:58	AIを活用した洪水予測技術の開発について	九州技術事務所	房前 和明
	11:00~11:10	発表者入れ替え		
4	11:10~11:28	<u>阿蘇大橋地区の恒久的な斜面安定化に向けて</u>	熊本復興事務所	江藤 優太
5	11:30~11:48	船上運用型無人飛行体の開発について〜実海域試験の結果と今後の対応〜	下関港湾空港技術調査事 務所	草野 昂希
6	11:50~12:08	維持管理コスト縮減に関する一考察	武雄河川事務所	石田 詩乃
	12:10~13:10	昼食		
7	13:10~13:28	鶴田ダム再開発事業における既設堤体コンクリート殻を活用したCSG工法の適用 について	川内川河川事務所	遠山 哲生
8	13:30~13:48	河川管理者が行う水文観測の心得	大分河川国道事務所	吉田 美幸
9	13:50~14:08	携帯端末を活用した水路点検巡視とGISデータベースシステムの開発	独立行政法人水資源機構	丸山 祐輝
	14:10~14:20	発表者入れ替え		
10	14:20~14:38	火山地域における無人化調査に関する中間報告について	九州技術事務所	岡崎 敏
11	14:40~14:58	志布志港防波堤(沖)の整備における工夫	志布志港湾事務所	木之下 天晟
12	15:00~15:18	九州管内空港で初となる静的圧入締固め工法(CPG工法)における現場の管理について	別府港湾·空港整備事務 所	平田 真彦
	15:20~15:30	発表者入れ替え		
13	15:30~15:48	大分港海岸における櫛形鋼矢板工法の導入について一液状化を許容した新形式 護岸の設計一	下関港湾空港技術調査事 務所	福島 純平
14	15:50~16:08	細島港南沖防波堤のケーソン据付無人化技術を活用した創意工夫について	宮崎港湾·空港整備事務 所	安武 輝征

(第2日目)平成30年7月27日(金)

東福第二ビル 1F(第3)会議室

No.	発表時間	発表課題名	所 属	発表者
15	10:00~10:18	<u>新技術の活用促進に向けた取り組みについて</u>	九州技術事務所	久保田 孝行
16	10:20~10:38	国道57号北側復旧ルートにおける二重峠レンネルの早期貫通に向けた取組について	熊本河川国道事務所	中川 量太
17	10:40~10:58	熊本地震からの新技術を活用した災害復旧	熊本復興事務所	森 英高
18	11:00~11:18	フィルダムコアゾーンの施工における品質管理の高度化に関する取組事例	独立行政法人水資源機構	坂本 博紀